

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 428

事務事業名	交通安全施設整備事業
-------	------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	道路課		
課長名	森 幸則	内線	427
担当者名	窪田 圭吾	内線	429

基本目標	030301	安全・安心なまち
政策		交通安全と消費者保護の推進
施策		交通安全の推進
関連施策		

会計	一般会計	
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	5	交通安全施設整備事業
事業コード	020100,020500	

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	市道利用者		
意図	市道の交通安全上危険な箇所において、安全施設を整備し、安全で安心な道路交通環境への改善を図る。また、通学路の緊急合同点検で、要対策箇所と抽出された所については、重点的に整備し児童の安全を確保する。		
事業概要	市道の区画線、防護柵、道路反射鏡及び保安灯の維持、修繕、新設を行う。また通学路である路側帯の拡幅や、カラー舗装も行う。		
事業期間	年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	交通安全対策特別交付金等に関する政令		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考	
活動指標	① 区画線延長	計画値	20,000	20,000	20,000	20,000		
		実績値	25,522	12,970	12,118			
		達成度	%	127.6%	64.9%	60.6%		
	② 道路反射鏡設置・修繕箇所	計画値	箇所	20	20	20		20
		実績値		18	18	28		
		達成度	%	90.0%	90.0%	140.0%		
成果指標	① 要望件数	計画値	件	120	120	100	100	
		実績値		40	34	53		
		達成度	%	300.0%	352.9%	188.7%		
	②	計画値						
		実績値						
		達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	36,919	49,769	66,850	110,200	143,400	143,400	143,400	0
国庫支出金	5,198	14,300	10,635	51,700	65,450	65,450	65,450	
県支出金								
地方債	4,300	10,800	7,900	39,100	50,500	50,600	50,600	
その他					21,800			
一般財源	27,421	24,669	48,315	19,400	5,650	27,350	27,350	
② 人件費(千円)	6,220	6,705	6,141	6,667	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.75	0.85	0.81	0.87				
時間外勤務(時間)	130	141	214	170				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	43,139	56,474	72,991	116,867				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	通学路の整備として、路側帯のカラー化や路側帯の拡幅を実施し、今年度も継続して実施予定。
事業が抱える問題・課題等	通学路の安全対策要望が多く、対応に苦慮している。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	ボランティア等を活用することによるコスト削減を図ることは困難である。						
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
対象が不特定の市道利用者であり、負担割合の見直しは困難である。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	通学路の安全対策として、道路管理者による対策が必要と判断された箇所については、重点的に対策を実施する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。